

本年度の学校教育の努力点とその推進計画

1 主 題

自分に合った方法を選択して主体的に学び進む児童の育成

2 主題について

本年度から、名古屋市では「学びのコンパス」と称して、「ゆるやかな共同性の中で自立して学び続ける」ことを目指したい子どもの姿として設定している。その中で特に重視したい学びの姿に、「自分に合ったペースや方法で学ぶ」、「多様な人と学び合う」、「夢中で探求する」の三つを柱にしている。

そこで、本校では今年度「自分に合った方法を選択して学び進む児童の育成」を目指す。本校が考える「自分に合った方法を選択して学び進む児童」とは、次のような姿のことである。

- ・各教科や学校での活動の中で、自分にできることや取り組みたいことを見つけ、進んでチャレンジする児童
- ・学んだことを基に、自分で課題を選択、設定して、学びをさらに広げたり深めたりする児童
- ・興味、関心があることに対して、自分なりに課題を見つけ、問題解決に向けて追求して深めていく児童

上記のような姿が様々な場面で見られることで、本校では「自分に合った方法を選択して学び進む児童」が進められたと捉えることとした。

本校には、与えられた課題に対しては、努力してやり遂げる気持ちがある児童が多い。ただ、課題を済ませれば学習は終わりと考え、それ以上さらに学びを進めようとする児童は多くない。その理由として、授業や学習を受動的に捉え、やらされていると考えているからだと考え。

そこで、本校では本年度より、まず算数科の授業と常時活動において研究を進めていくことにした。算数科の授業では、最初の段階では学習内容を理解した後、練習問題や発展問題に取り組む場面で、児童が自分に合った問題数、難易度を個別に選択させる。活動を進めていく中で、さらに発展的な深い学びに繋げていったり、他者と協同的に学び合ったりすることまでできるようになるとよい。また、常時活動では、新聞を読んで興味をもった内容をさらに調べ進めていったり、タブレットを使って興味があることについて調べ学習をして発表したりするなど、発達段階に応じて行っていく。

自分に合った方法を選択して学び進む力を高めることは、どの教科、領域でも必要な力であるとともに、日常生活においても生かされることが多いと考える。それを計画的、段階的、継続的に取り入れることで、児童のこれからの人生をより豊かなものにすることができると考え、この研究を進めていく。

3 推進組織

チームでの取り組みを密にしていくため、3つの部会に分け、その部会のとりまわし（定期的に行う部会や、指導案・資料作成などの割り振り）を部長が行う。そして、推進委員会を下記のメンバーとし、部長との連携、情報共有は推進委員会で図っていく。

